

公共交通に関する意見交換会について

開催概要

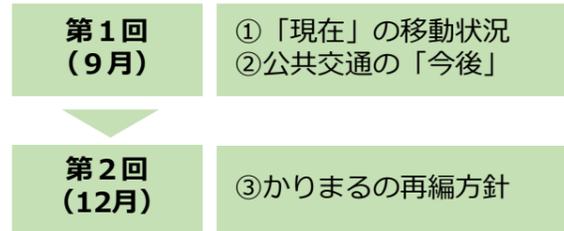
・目的

- ・地区の方、特に、移動にお困りの方の「生の声」をお伺いすること
- ・刈谷市の地域公共交通を市民の皆さまと一緒につくっていくきっかけに

・ご参加いただいた方



・開催時期・テーマ



・開催区分 (6つの中学校区ごとに開催)

- ・富士松 ・雁が音 ・刈谷東
- ・刈谷南 ・依佐美 ・朝日

・開催状況

・概ね5人1グループでワークを実施。



意見交換会の結果

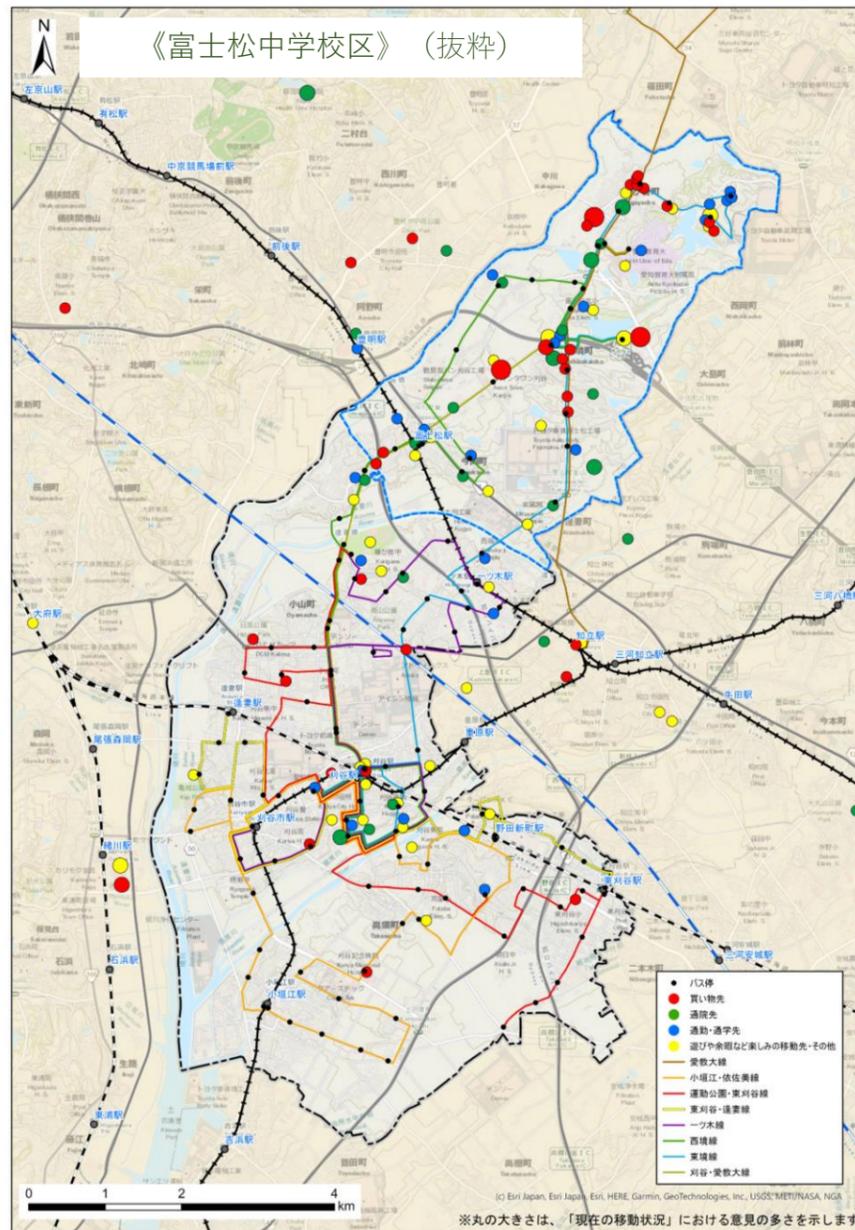
<第1回(9月)>

①「現在」の移動状況

- ・「買い物先」「通院先(病院、診療所)」など、目的ごとに色分けしたシールを地図上の貼り付け

結果

- ・各中学校区内に商業施設等が多数立地しており、各中学校区内での移動が中心であった。
- ・各中学校区内の移動に加え、いずれの中学校区も刈谷駅周辺エリアへの移動がみられた。
- ・JR東海道本線を跨ぐ移動は少なく、特に、南側から北側への移動はあまり見られなかった。



②公共交通の「今後」

かりまるの改善

- バス停の新設 ●運行本数が少ない ●ベンチ、上屋など待合環境の充実
- 利便性向上するなら有料化も良い ●有料の場合100円程度が妥当 ●無料はありがたい

かりまる以外の交通

- 既存公共交通の充実に加え、区内を巡回する交通、小型バス、乗合タクシーの導入
- 自転車の活用

利用促進

- 自動車免許返納者へのサービス ●高齢者外出促進、孫と一緒に利用できるイベント
- バスロケーションシステムを知らない市民もいるためアピール

今後の取組み

- 東西軸は鉄道、南北は幹線バス、各地域に拠点を設定し循環線の運行
- 障害者への理解、配慮 ●安全な自転車道の整備

<第2回(12月)>

③かりまるの再編方針

(1) 路線網・地域拠点

- ネットワーク 例：南北の幹線路線と区内の交通を組み合わせる
- 幹線 例：刈谷駅より北側のバスの南北幹線は維持
- 区内の交通 例：デマンド交通、乗合タクシー、小型車両、タクシーを活用
- 地域拠点 例：市役所、ハイウェイオアシス、鉄道駅、アピタ、総合病院 など
- バス利用時目的地 例：刈谷駅、病院、商業施設、公園 など

(2) 運行本数・ダイヤ

- 増便 例：朝は通学者、高齢者の通院 夕方は通所施設、大学等からの帰宅時間
- ダイヤ 例：パターンダイヤ、1時間程度で1周

(3) 運賃

- 有料化 例：利用者はある程度の負担は必要 : 利便性が向上するなら有料化は妥当 : 導入費用が大きい場合は無料が良い
- 支払い方法 例：QRコード、ペイペイなどへの対応
- その他 例：障害者へは移行期間、練習期間が必要

(4) 利用促進

- 対象者アプローチ 例：子ども、子育て世代、高齢者、障害者、免許返納者に特化
- バス停の充実 例：待合環境の充実(屋根、ベンチ、駐輪場、焦点の連携)
- PR強化 例：市民だより、回覧板で強化
- 運営 例：地域コミュニティで運営、地域の方がドライバー